

Press Information

「Team Honda Access」 2008年スーパー耐久レースに継続参戦

(株)ホンダアクセス(社長:西浦康親)は、2007年スーパー耐久ST4クラスシリーズチャンピオンとなった「チームホンダアクセス」を2008シーズンに継続参戦する。

2008年スーパー耐久ST4クラスに参戦するのは、昨年同様「CIVIC TYPE R」をベースとしたスーパー耐久仕様マシンで、名称を新たに『Racing Modulo TYPE R』とする。昨年度チームをシリーズチャンピオンに導いた、マシンの高い耐久信頼性やコーナリング性能に加え、(株)ホンダアクセス 四輪開発部のサポートの下、空力性能を一段と向上させたマシンをシーズン後半に投入する予定で、車体技術的な意味合いではホンダアクセスの準ワークスチームと位置づけられる。

ドライバーは、07年チャンピオンとなった玉本秀幸、小林正吾、古橋譲の3名をレギュラーに、十勝24時間(第4戦)にはさらに1名を加えた布陣とする予定。チーフメカニックも昨年同様水野慎也がマシン製作とメンテナンスを担当。レースメカニックは(有)N Tech Japan が担当する。

08年後半に投入するマシンの特徴は、1月に東京オートサロンで市販を前提として発表した「Sports Modulo TYPE R」のコンセプトをそのままスーパー耐久仕様に適用することである。一般的にダウンフォースを得ることが空力パーツの主眼であるが、それに加え走行抵抗をできるだけ少なくしつつも、車体全体に受ける空力バランスにも配慮した結果、操縦安定性の向上と同時に最高速の伸びも期待できる「ハコの新たな空力トレンド」を目指した取り組みとなっている。

これらの空力パーツはHondaの国内四輪販売店Honda Carsで販売される予定。スーパー耐久シリーズにCIVIC TYPE Rで参戦する他のチームも任意で購入し使用することができる。

チーム名: ▪ チームホンダアクセス<ゼッケン76>
クラス: ▪ ▪ スーパー耐久ST-4クラス(全レース参戦予定)
マシン名: ▪ Racing Modulo TYPE R
ドライバー: ▪ 玉本秀幸、小林正吾、古橋譲、TBN
チーフメカニック: 水野慎也
マシン製作・メンテナンス・レースメカニック: (有)N Tech Japan

お客様からのお問合せ先は「株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521」へお願いいたします。
受付時間: 9時~12時、13時~17時(土日祝祭日をのぞく)

(株)ホンダアクセス西浦康親社長

「08年もスーパー耐久のレースフィールドに『チームホンダアクセス』が参戦できることを嬉しく思います。昨年は初年度でありながらST-4クラスのシリーズチャンピオンを獲得することができました。今年はアクセスの研究所が確たる意志を持って作り上げる空力パーツを装着しての戦いとなる予定です。その中から次世代の技術を創出していくことが私たちに与えられた使命と信じています。特に今回はメーカーとしての立場を考慮し、機会均等の考え方からCIVIC TYPE Rでスーパー耐久レースに参戦するチームは、全国のHonda Carsで私たちの空力パーツを購入できるようにします。これによって『チームホンダアクセス』としてのアドバンテージは若干失われることにはなりますが、それ以上にホンダアクセスの技術力を多くの皆さまにご理解いただければと思います」